

## 関西学院大学心理学研究室年表

1922	今田恵、東京帝国大学を卒業し、関西学院専門部文学部教授として就任。
1923	心理学実験機器一式がドイツチンメルマン社より到着。神戸原田の森キャンパス、ハミル館2階の3室を実験室に当てる。わが国の私学で最初の心理学実験室が誕生。
1929	神戸原田の森から西宮市上ヶ原にキャンパス移転。ハミル館は上ヶ原に移築されたが仁川幼稚園として使用されたため、心理学研究室は新校舎(大学昇格後の法文学部校舎)内におかれ
1932	大学令による関西学院大学が設立認可され、大学予科を開設。
1934	法文学部が開設され、心理学専攻が置かれる。
1937	第1回卒業生(古武弥正高橋調三林滋基)。
1939	古武弥正、助手に就任(41年専任講師、44年助教授、48年教授)。
1941	太平洋戦争勃発により、法文学部校舎が軍需工場となったため、心理学研究室は神学部校舎
1943	心理学専攻に関西学院大学初の女子学生入学(浜口みづら、46年卒業後、大阪府教育委員会指導主事などを歴任)。
1945	太平洋戦争終結に伴い、法文学部校舎に復帰。
1948	新制大学発足と同時に、文学部心理学科となる。
1949	新浜邦夫、助手に就任(53年専任講師、55年助教授、63年教授)。
1950	大学院修士課程文学研究科心理学専攻を開設。 石原岩太郎、関西学院専門学校より専任講師に就任(51年助教授、57年教授)。
1951	日本心理学会第15回大会を主催。
1954	関西心理学会第54回大会を主催。
1955	宮田洋、助手に就任(59年専任講師、63年助教授、71年教授)。
1956	心理学研究室、ハミル館に移転(復帰)。
1959	今田寛、助手に就任(64年専任講師、68年助教授、75年教授)。
1961	関西心理学会第68回大会主催。
1962	日本心理学会第26回大会主催。
1965	今田恵教授、定年退職。 日本応用心理学会第32回大会を主催。
1972	古武弥正教授、新設の兵庫医科大学の副学長教授に就任のため退職。 賀集寛、ノートルダム清心女子大学より教授に就任。
1975	第3回日本バイオフィードバック学会総会(会場:同志社大学)を主催
1979	関西心理学会第92回大会を主催。
1982	日本動物心理学会第42回大会を主催。
1983	八木昭宏、通産省製品科学研究所より助教授に就任(86年教授)。
1984	石原岩太郎教授、定年退職。
1989	日本基礎心理学会第7回大会を主催。
1992	新浜邦夫教授、逝去。 嶋崎恒雄、助手に就任(93年専任講師、97年助教授、02年教授)。
1996	日本生理心理学会第14回大会を主催。
1997	賀集寛教授、定年退職。 浮田潤、兵庫県立総合リハビリテーションセンターより助教授に就任(02年教授)。 中島定彦、ペンシルベニア大学より専任講師に就任(01年助教授、07年准教授)。 日本心理学会第61回大会を主催。
1998	宮田洋教授、定年退職。 F号館の落成により、同館地下に心理学研究室が移転する。
2000	雄山真弓、情報メディア研究センター教授から文学部心理学科教授に移籍。 松見淳子、米国ホフストラ大学より教授に就任。
2001	日本動物心理学会第61回大会日本基礎心理学会第20回大会合同大会を主催。
2002	文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業(学術フロンティア推進事業)として旧理学部棟の3~4階に応用心理科学研究センター設置。
2003	今田寛教授、定年退職。 心理学科と教育学科が統合し、総合心理科学科となる(心理学専修教育心理学専修臨床教育学専修の3専修で構成、旧心理学科は心理学専修となる)。 総合心理科学科管理の建物としてハミル館が復活する。これにより、心理学研究室はF号館地下、ハミル館、応用心理科学研究センターの3箇所に拡大。 松中久美子、契約助手に就任。
2004	成田健一、東京学芸大学より教授に就任。
2005	文部科学省魅力ある大学院教育イニシアティブに、大学院心理学専攻が「理工系分野に貢献する心理科学教育」で採択される。
2006	松中助手、関西福祉科学大学に転出。 土江伸誉、契約助手に就任。 日本行動分析学会第24回年次大会を主催。
2007	土江助手、株式会社ソムノクエストに転出。 大学院改組により文学研究科総合心理科学専攻心理学領域に名称変更。